

ふむふむ

2024年4月

茨城学習センターだより 第84号

もくじ

巻頭言	1
退任の先生からのご挨拶	2
新任の先生からのご挨拶	3
学位記授与式	4
学習奨励賞	4
入学者の集い	5
ライブラリー講演会	6
ゼミのお知らせ	7~8
サークル紹介	9~10
面接授業	11
スケジュール	12

発行 放送大学茨城学習センター

〒310-0056 茨城県水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)
TEL: 029-228-0683 FAX: 029-228-0685

一 張 一 弛 ~ゆとりある開拓の精神に学ぶ~

放送大学茨城学習センター所長 **小野寺 淳**



新入生の皆様、入学おめでとうございます。

2024年1月1日、16時10分、能登半島沖でマグニチュード7.6の大地震が起きました。令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。茨城県でも2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震により、多くの犠牲者を生みました。私たちは決して忘れることはありません。度重なる天災の中で、学べる幸せを噛みしめたいと思います。

さて、放送大学は「生活と福祉」、「心理と教育」、「自然と環境」、「人間と文化」、「社会と産業」、「情報」と、6つのコースで幅広い教養を学ぶことができます。全国57カ所には学習センターやサテライトが設置され、教員との対面で学べる面接授業が開講されています。茨城学習センターは茨城大学水戸キャンパス内にあり、約1,000名の皆さんが面接授業、学習相談はもとより、客員教員や元所長・所長によるゼミに加わり、さらに様々なサークル活動にも参加されています。このように、学生の皆さんは親睦を深めながら、多面的な学びを楽しんでいます。また、一般市民に開放されたライブラリー講演を年10回、茨城県立図書館で開催しています。地域で働き、生活し、地域の活性化にも取り組み、茨城の地から世界を見渡す広い視野の獲得を目指します。

茨城学習センターに来られたら、第九代藩主徳川斉昭が創設した弘道館と偕楽園へぜひ訪れてみて下さい。天保12年(1841)、15歳から30歳の藩士(40歳まで学習可)とその子弟が幅広い分野を真摯に学び、新たな世界を切り開く人材の育成を目指した藩校弘道館が開校します。翌年には、武士のみならず領民の憩いの場としても徐々に開放され、そして殖産興業の試験場でもあった偕楽園が開園します。張り詰めた雰囲気の中で学ぶ一張の弘道館、心を和ませる一弛の偕楽園、両者は二つで一つ、不可分の関係でした。斉昭は、ゆとりある開拓者の精神を藩士に育もうとしたのでしょう。斉昭の人材育成の精神に学び、茨城学習センターではこれからも様々な取り組みを行ってまいります。

最後に、これまで客員教授を務めていただきました谷川佳幸先生、渡邊邦夫先生が退任されました。心よりお礼申し上げます。また、本年度から実験心理学・行動神経科学がご専門の山田一夫先生を客員教授にお迎えいたしました。よろしくお願いたします。

退任のご挨拶



茨城学習センター客員教授
茨城大学名誉教授 / 専門分野：哲学・倫理学 **渡邊 邦夫**

前回(2011～13年度)から少し間をおいて、4年間お世話になりました。今回は茨大定年後でしたので、哲学を専攻する学生相手のゼミの延長というより、さまざまな問題関心の多様な年齢のゼミ生自身の「幸福」と学問を話し合うゼミにしました。次第に軌道に乗り、毎回、あらかじめ聞き取った一人のゼミ生の関心によりゼミを運営できました。最近、認知科学的初等教育論、ソクラテス裁判、ギリシャ神話、フィッチェノ哲学、古代医学の元素論といったテーマです。ゼミ生の学業の進展を期待します。また、面接授業受講の方々はじめ、学生の皆様のご多幸を祈ります。

コロナ禍は大変でした。哲学的主題の場合、ホワイトボード等が使えないと似た音の多くの言葉をめぐってお話しすることが難しく、苦勞しました。そこでオンラインゼミのために時間をかけて資料を作り、必ずアップし、かみくだいた説明に努めました。これには意外な副産物もあり、昨年ライブラリー講演は今までにないほどわかりやすくなって、参加された方々からもご好評をいただきました。

所長はじめ職員の皆様にはあらゆる面で助けていただき、感謝申し上げます。茨城学習センターのご発展をお祈り申し上げて、退任のご挨拶といたします。



茨城学習センター客員教授
茨城大学教育学部教授 / 専門分野：演奏学 **谷川 佳幸**

放送大学で開講されている面接授業、ライブラリー講演会、ゼミなど全体を眺める度に、声楽の講座は特殊な存在だなあと感じ続ける5年間でありました。

卓上で学べることは限られていて、歌うにはそれを理解したところからいかに技術を習得するかが肝心だからです。どんなことができるのだろうか始めてみると、案ずるより産むが易し、受講生の皆さんの意欲と吸収力に助けられて突っ走る初年度でした。意気揚々と2年目が進み、かなりのステップアップになっていた頃やって来たのがコロナ禍、声楽には苦難の時期が始まることになりました。休講が続き、再開後もパーテーション越しにマスクをして、受講生が教室の隅にまで広がっての歌唱。その環境に慣れることはなく、歌っているのにストレスが溜まっていく。もっと近くで皆さんの表情や体の動きを見ながら、一緒に声を出したいという気持ちが募るばかり。席が遠い寂しさは最後まで変わらずでした。

ここで一区切りになりますが、いつも助けてくださった優秀なスタッフの皆様と、学ぶ意欲の大切さを教えてくださった学生の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。何も気にせず近くでカー杯一緒に歌える日が来ることを願っております。

新任のご挨拶



茨城学習センター客員教授
筑波大学人間系教授 / 専門分野：実験心理学

山田 一夫

本年度から客員教授としてお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

私は大学院生時代から継続して、ラットを用いた研究を行っています。ヒトの心(精神)のメカニズムを知ろうとする心理学の一分野として、動物やヒトの行動のメカニズムを生物学的、特にその神経科学的基盤について解明することを目指し、なかでも記憶や学習といった、経験による行動の変容に焦点当てて研究してきました。ラットを含むげっ歯類は優れた空間記憶、作業記憶能力を有しており、それらがどのようなメカニズムで発現しているのかを、行動科学、生理心理学、行動薬理学の方法を用いて実験を行っています。具体的には、動物の記憶・学習能力を測定する方法の開発、これら記憶・学習課題での成績に及ぼす脳損傷、神経毒投与、薬物投与の影響、記憶障害を有する各種神経変性疾患のモデル動物の開発、学習・記憶過程における神経伝達物質や伝達物質受容体の関与やその機構の解明に興味を持っています。

放送大学では動物実験を実施することはできませんが、本務校である筑波大学で行っている動物実験の結果を皆さんと共有し、ヒトの心の本質について考えていきたいと思っています。



事務室からのお知らせ

● 面接授業における BYOD について

2024 年度 1 学期より、面接授業及び自己学習で学生が使用していた学習センターのパソコンおよびプリンターが廃止されます。これにより、パソコンを使用して実施する面接授業については、受講者ご自身にパソコン等を持参していただく方式(BYOD: Bring Your Own Device)となります。茨城学習センター面接授業における BYOD 対象科目については、P11 をご覧ください。

*従来の放送授業視聴用の端末(Chromebook)については、これまでと同様に使用できます。

● 教養学部全科履修生の卒業要件の改正について

卒業要件には、「科目区分に係る要件」と「授業形態に係る要件」があります。新卒業要件では「授業形態に係る要件」が以下のとおり改正されました。



授業形態	修得すべき単位数 (124 単位)	
		授業形態を問わない単位数
放送授業	74 単位 (従来: 94 単位)	30 単位 (従来: 10 単位)
面接または オンライン授業	20 単位	

従来に比べ、放送授業・面接授業・オンライン授業のいずれでも修得できる単位数が 20 単位増え、より自由に科目を選択できるようになりました。

*2023 年度第 2 学期以前から全科履修生として在籍中の方(2023 年度第 2 学期末に学籍が切れる方を除く)で、新カリキュラム移行を希望する場合は「学生生活の葉」P82 にて手続き等をご確認ください。

ご卒業・修了 おめでとうございます



茨城学習センターからは、第2学期学部45名、大学院1名の方々がご卒業・修了されました。これまでのご努力と成果に敬意を表し、新たな歩みを進められますことを、心よりお祝い申し上げます。

謝 辞

卒業生代表 澤田 精一 (社会と産業コース卒業)



学位記授与式にあたり、卒業生を代表して感謝の言葉を申し上げます。

私は入学から卒業までの間にコロナ渦を経た学生期間でした。コロナ渦以前は、単位認定試験で学習センターに来て、同じ科目を学習する人たちと一緒に単位認定試験を受けましたが、その際に同じ科目を学んだ仲間に出会うことで、自分もこの方々に負けないように頑張ろうと思ったことを覚えています。

コロナ渦以降、学生が揃って単位認定試験を受けることは無くなりましたが、それでも面接授業で他の方々が積極的に授業に臨む姿を見たり、直接意見を交したりすることで刺激を受け、自分も頑張ろうと奮起してきました。

普段の忙しい日々を過ごす中で、大学の勉強を進めていくことは容易ではなく、挫折しかけたこともありましたが、新しいことを学ぶ楽しさを知り、また同じように学ぶ方々の姿を見て刺激を受けたことで、学ぶことを続けることができました。ですので、自分一人の力だけではなく、見えない多くの人に支えられ、励まされて本日を迎えることができたと思っております。

本日は私の人生においても重要な区切りの日になりましたが、これは一つの通過点として、新たな学びを進めてまいります。

最後に、例年と違い本部主催の学位記授与式で学位記が直接授与いただけなかったところ、このように直接授与いただける機会を作っていただき、本当に感謝申し上げます。

茨城学習センターの益々の発展、皆様のご活躍とご健勝を心より祈念いたしまして、謝辞とさせていただきます。

学習奨励賞

3月24日(日)茨城学習センターにて、学習奨励賞の表彰式を開催いたしました。

表彰は、学部または大学院の3コース(プログラム)以上を卒業・修了された方に行い、卒業・修了されたコース・プログラム数に応じて、茨城の山々の標高にちなみ、『八溝賞』『筑波賞』『神峰賞』の愛称名を付しています。卒業コース(専攻)数または修了プログラム数が3, 4, 5回に達した学生を表彰いたします。

※八溝賞：(卒業または修了回数)5回以上、筑波賞：4回、神峰賞：3回



受賞おめでとうございます

筑波賞 三ツ泉 忠男

神峰賞

川瀬 幸男
河野 哲也
北畑 順一
小菅 光子

受賞者からのメッセージ

神峰賞受賞者 北畑 順一 (心理と教育コース卒業)

16年前準ずる教育課程のある友部東支援学校に在職していた時に、高校の理科も教えることになり、放送大学の「自然と環境コース」を学習し直しました。それがきっかけで勉強そのものが面白くなり、「情報・心理と教育のコース」も卒業できることになりました。教育コースでは40年前に結城養護学校での実践「知恵遅れを伴わない全盲の子の指導」をテーマに、卒業研究にも取り組みました。充実した日々を送れ感謝しております。

ご入学 おめでとう ございます

4月6日(土)、茨城学習センターにて「入学者の集い」が執り行われました。「入学者の集い」では、小野寺所長による式辞に続き、井上栄一客員教授、立原やい子同窓会会長からの来賓祝辞、小田部瞳様の新入生代表挨拶がありました。



立原やい子同窓会会長



井上栄一客員教授

祝賀茶話会



風光るこの良き日に、入学生を代表しご挨拶をさせていただきます。まずはじめに、本日は私たちのためにこのような場を設けてくださり、ありがとうございます。

私は今まで、多くの時間を困難と共に生きてきました。精神を病み、学生時代は勉学に励むことができませんでした。成人してからも当たり前に働くことができませんでした。人として最低限の生活を送ることもままならず、生きることに喜びを見出せず、ただただ無気力に、日々を過ごしていました。

しかし、その暗闇に光を与えてくれたものがありました。それは「心理学」という学問でした。私は心理学を通して、自分自身の過去と向き合い、己の困難を乗り越えることができました。それは同時に、目の前の現実に向き合い、他者の、社会の、この世界の、ありとあらゆる困難を理解することでもありました。心理学は、私の内側と外側に存在した多くの不可解を解き明かし、生きる喜びを、真に思い出させてくれました。私が今ここに立つことができているのは、先人たちが残してくれた叡智があつたからです。これから勇気を持って、過去の自分が果たせなかったことに、挑戦をします。

学びはこの世界と私たちを繋ぎ、知識・教養は人生を豊かにします。それは、他の国の言語で、挨拶ができるようになることかもしれません。夜空に浮かぶ星の名前を、知ることもありません。数字の配列や、俳句のしらべ、それらが持つ美しさに気づくこともありません。生まれ育った町の歴史を感じることもや、世界全体のことから、考えることもありません。そして、目の前にいる大切な人の心を想像することもまた、この世界と私たちとを繋ぎ人生を豊かにする学びとなるでしょう。

生まれた時代も、育った環境も、過ごした日々も違う、それぞれの人生を歩んできた私たちが、自らの意志でもう一度学生になり、この場所での出会えたこと。そして、新たな学び舎と、新たな師を得られたこと。この素晴らしいご縁に深く感謝をし、入学生代表挨拶とさせていただきます。

新入生代表 挨拶



全科履修生
(心理と教育コース)
小田部 瞳

卒業研究に 取り組んで みませんか？

卒業研究を履修するためには、履修する前年度(2025年度に履修するなら2024年度)に、卒業研究申請書の審査により履修が認められることが必要です。申請には、原則として申請年度の4月1日の段階で全科履修生として2年以上在学し、62単位以上の修得が条件となります。

2025年度履修予定者向けの
Web 卒業研究ガイダンスを開催します

2024年6月9日(日)
13:30 ~ 15:00

参加希望の方は、電話または事務室窓口でお申込みください！



期 日	テ ー マ	講 師	内 容
令和6年 4月20日 (土)	北関東の農村荒廃を救った人々 —竹垣三右衛門・岸本武太夫・二宮尊徳—	放送大学茨城学習センター所長 ／特任教授 オノデラ アツシ 小野寺 淳	18世紀中頃から関東・東北地方は冷夏が続き、火山の噴火も多い時代でした。また、干鰯などの肥料の購入も原因となり、農村荒廃が生じました。この復興に越後・越中・加賀などから、浄土真宗を信仰する人々が主に北関東へ移住します。江戸時代後期における農村荒廃を救った人々と浄土真宗移民の北関東移住を紹介します。
5月18日 (土)	幕末水戸藩を襲った感染症	茨城大学人文社会科学部 教授 ソエダ ヒトシ 添田 仁	幕末の水戸藩をパンデミックが襲いました。はしかとコレラが同時に大流行したのです。江戸時代の人びとは、目に見えない脅威にどのように対処したのでしょうか。そして、流行り病は、当時の人びとのくらしや考え方にどのような影響を与えたのでしょうか。感染症との戦いの歴史を通して、幕末社会の特徴についてお話しします。
6月15日 (土)	文化資源としての茨城の「民俗芸能」とその課題	実践女子大学文学部 美学美術史学科 准教授 クシダ キヨミ 串田 紀代美	かつて郷土芸能と総称されていた日本各地の伝統的な歌や踊りは、文化財保護法制定後に文化財行政が整うと「民俗芸能」と呼ばれ、その中から「無形民俗文化財」が誕生していきました。本講演では、茨城県の民俗芸能を概観しつつ、次世代への継承を見据えた取り組みや「文化財」から「文化資源」への価値転換について考えます。
8月17日 (土)	戦国時代の佐竹氏と常陸国の領主層	大正大学文学部 教授 ササキ ミチロウ 佐々木 倫朗	現在の茨城県北部を拠点とした佐竹氏は、戦国時代の後期に関東地方の北部と東北地方の南部に大きな影響力を振るいました。その佐竹氏が、同じく茨城県に勢力を持っていた小田氏や大塚氏等の領主層と、どのような関係を持っていたのかを解説します。
9月21日 (土)	在宅看取りを考える —人生の終末をより良く過ごすために—	放送大学茨城学習センター 客員教授 茨城キリスト教大学看護学部 教授 マエダ カズコ 前田 和子	人生100年時代を迎えています。一人ひとりかけがえのない人生を、自分の希望によって決め、悔いなく満足をもって終わりたいというのが万人に共通する思いでしょう。いつかは来る死。住み慣れた地域で「最期まで暮らしたい」「看取ってあげたい」という願いをかなえるために、在宅看取りについて一緒に考えてみませんか。
10月19日 (土)	心を使って考えるということ	放送大学 教授 (心理と教育コース) マルヤマ ヒロト 丸山 広人	考えるということは、ふつう「頭を使って」行うものです。しかし、カウンセラーとして仕事をしていると、いくら頭を使って考えても、なかなか答えが出せないことが世の中には多いことに気づきます。そのような時、カウンセラーはどうしているのか。それを「心を使って」考えるというテーマでお話ししたいと思います。
11月16日 (土)	戦後日本の団体旅行 —旅の大衆化とその移り変わり—	神奈川大学国際日本学部 教授 ヤマモト シノ 山本 志乃	「団体旅行」と聞くと、旗を持ったガイドに連れられた、主体性のない旅行者の集団、といったイメージが思い浮かぶ。しかし、旅行機会そのものがまだ少なかった時代にあつて、団体旅行は誰もが安全に旅を体験できる貴重な手段でもあった。日本の文化的所産ともいべき団体旅行の変遷を、とくに戦後の高度経済成長期を中心に考えてみたい。
12月21日 (土)	2050年の未来から考えよう —未来カルテと未来ワークショップ—	芝浦工業大学 地域共創基盤研究センター長 兼 建築学部 教授 クリシマ ヒデアキ 栗島 英明	地域を持続可能なものにするために、我々は今から何に取り組むべきでしょうか？現在の延長線上にある地域の2050年の姿を投影する未来カルテと、それをを用いて2050年の地域の未来から今から取り組むべきことをバックキャストで考える未来ワークショップについて紹介し、参加者に実際にミニワークショップを体験していただきます。
令和7年 2月15日 (土)	水戸城 —中世から近現代まで—	水戸市教育委員会 歴史文化財課 副参事 セキグチ ノリヒサ 関口 慶久	水戸城は土造りの平山城としては国内有数の規模を有する中～近世城郭です。近世には御三家水戸藩の居城として水戸藩の政治的中枢となり、県都水戸市の誕生につながりました。本講演では、こうした水戸城をめぐる中世・近世・近現代の歴史と、その構造や特質について、文献史学・考古学等の最新成果をもとに解説します。
3月22日 (土)	スイスの山と日本の山 —UとVが生み出す自然環境・人間生活・ツーリズムの特色を比較する—	茨城大学教育学部 特任教授 筑波大学 名誉教授 マツオカ ノリカズ 松岡 憲知	氷河がつくったスイスの山と流水がつくった日本の山を比べると、器の形がU字とV字とで大きく違います。この器の違いが自然景観・植生・農牧業・集落地・登山や観光のスタイルなどの違いを引き起こしています。さらに、気候温暖化が山の景観や人間生活を大きく変えようとしています。バーチャルな巡検を通じて、二地域の違いや変化を考えましょう。

放送大学教授等による講演会を開催します。各分野の最新的话题を聞くことができるまたとない機会です。ぜひ御参加ください。
※都合により日程・会場・内容等が変更になる場合があります。

入場料無料・事前申込不要・先着160名

時間 14:00 ~ 16:00
会場 茨城県立図書館 視聴覚ホール



主催 放送大学茨城学習センター 茨城県立図書館
お問い合わせ 水戸市文京2-1-1 茨城大学水戸キャンパス内 水戸市三の丸1-5-38
tel:029-228-0683 tel:029-221-5569

令和6年度ゼミのお知らせ

茨城学習センターの
歴代所長・客員教授等によるゼミ全12!



NEW 『動物行動研究から探るヒトのこころの世界』

●原則毎月第3土曜日9時30分～



やまだ かずお
山田 一夫

概要：日本動物心理学会監修で出版された「動物心理学入門」を購読し、ヒトと動物のこころの共通性や違いについて学び、ヒトのこころの本質について議論します。また動物を対象とした実験心理学的研究についても、その手法や最近の知見について紹介します。

計画：日本動物心理学会監修「動物心理学入門」(有斐閣)を教科書として使用します。あらかじめ各節(例えば第1章は4節で構成されています)の担当者を決めておき、各ゼミでは担当者による発表と教員による解説、そして全員による議論を行います。

メッセージ：ペットであるイヌやネコに「こころ」があると思う人は多いと思いますが、では害虫であるゴキブリや蚊に「こころ」はあると思いますか？動物とヒトの行動における共通性と違いについて学んでいくことで、「人間とは何なのか」について考えてみましょう。

『老舗から水戸の商工業の変遷をたどる』

●原則毎月第3水曜日15時～



おのでら あつし
小野寺 淳

概要：旧城下町水戸には、現在でも多くの老舗が残ります。老舗の業態の変化を聞き取りと資料資料・地図から明らかにしていきます。江戸時代から近現代における水戸の商業や伝統工芸などの変化をたどります。ゼミの皆さんとともに、城下町水戸の再活性化を考える上での基礎データを作成し、議論しましょう。

計画：聞き取りを中心とするフィールドワーク、翌月にはそのとりまとめと発表、そしてディスカッションをします。

メッセージ：何代にもわたって引き継がれてきた老舗、様々なご苦労があったと思います。そうしたご苦労に学びながら、これからを考えていきましょう。

『果実や野菜の生産や利用について考えよう』

●原則毎月第4土曜日9時30分～



いのうえ えいち
井上 栄一

概要：果実や野菜は青果物とも呼ばれ、副食性の食品として我々の健康維持に欠かせない農産物です。果実や野菜は種類や品種が多く、その生産や利用には地域性があるため、農業活性化のみならず地域振興のためにも重要な品目となっています。本ゼミでは身近な果実や野菜の生産や利用について、あらためて調査し学習することによって知識を深めることを目的としています。

計画：果物や野菜について、品目ごとに複数回(2～3回程度)に渡って深く学んでいきます。まず教員から対象とする品目の栽培や利用の基礎や現状について話題提供します。次に栽培や利用における地域による特徴や時代的な変遷について、参加者が集めた情報を共有し議論したいと思います。情報収集の一環として、見学も積極的に取り入れたいと考えています。

メッセージ：身近な果実や野菜を取りあげて、色々な角度からあらためて深く考えて意見交換するゼミです。ぜひ気軽にご参加いただければと思います。

茨城学習センター所属学生であれば無料で受講できます。
ゼミは年度ごとにお申し込みが必要です。(自動更新ではありません)
参加ご希望の方は、2階事務室受付窓口に設置してある「ゼミ申込書」にご記入のうえ、受付窓口へご提出ください。

『R. Carson : The Sea Around Us. を読む』

●原則月2回第2・第4日曜日9時30分～



あさの よういち
朝野 洋一

概要：海洋は地球上の生命の故郷であり、その豊かな資源は今日まで人類を始め多くの生物の命を支えてきた。しかし、近年はプラスチック廃棄物による汚染が大きな問題となっており、マイクロプラスチックの海洋生物への影響は深刻である。さらに水産資源量の減少、温暖化に伴う海面上昇や海流の変動、原子力発電所からの放射性廃棄物放出など問題が多い。広大な面積と膨大な水量を有し、総てを飲み込んでくれるように思える海洋だが、限界が見えてきた。持続可能な開発目標の一つである海洋についての理解を深めたい。

計画：テキストは2018年刊行のOxford UP版を使用。1951年の初版に著者注を加えた1961年版を基にしているため、その後著者が発見した生物・地球・海洋諸科学の知見を参照しながら読む必要がある。日本語訳(「われらをめぐる海」早川ノンフィクション文庫)もあるが、原文を丁寧に読むことを心掛ける。

RENEWAL

『統計学ゼミ』

●原則毎月第3日曜日10時～ オンライン開催



しおみ まさえ
塩見 正衛

概要：従来の「実用統計学ゼミ」と「初歩の統計学ゼミ」を統合し、2024年4月より「統計学ゼミ」として新たにスタートします!

計画：(1)秋光淳生著「改訂版 データの分析と知識発見」(放送大学印刷教材2024年改訂)のテキストを元に勉強します。(テキストは各自ご準備ください)
(2)毎月1回のゼミで、ゼミ生が交替で毎回の内容を説明し、質疑応答により内容の充実を図ります。

メッセージ：秋光淳生先生のテキストは2024年に改訂され、2024年4月から新しく開始されます。内容は多岐にわたり、幅広く統計学を学ぶことができますので、初心者の方々をはじめ、中級以上の方々にもご参加していただける内容です。

『ドイツ文学をやさしく読んでみる』

●原則毎月第2木曜日13時30分～(8月休講、6・7・12・1・2月オンライン開催)



さとう かずお
佐藤 和夫

概要：前半は文法を中心として初級の練習問題を全員で検討します。今年度は新しいテキストを用いて最初歩から出発します。後半は近代から現代のドイツ文学作品をやさしく書き改めたテキストを講読していきます。上記テキストは短編ですので、第1学期中の読了を見込んでいます。

計画：テキストは、
前半：Deutsch Intensiv Grammatik A1, (Klett)
後半：A.Stifter, "Bergkristall", (Hueber) CEFR A2です。

メッセージ：「急がず休まず」(ゲーテの言葉) 歩みを進めていきましょう。前半は新たにスタートします!

※日程は変更となる場合がありますのでご注意ください。

『やさしい英会話教室』

●原則毎月第2または第3土曜日10時～ オンライン開催



しらいし まさたけ
白石 昌武

概要：中学校から英語を学んでいるが英語を話せない。文法を気にし過ぎ、中々言葉として出せない。そこで文法などを気にせず、出来るだけ易しい単語を用いて口に出すことから始めよう。
例えば：When did you get up this morning?
(今朝何時に起きましたか?)
I got up at seven. (7時です)のように昔学んだ易しい単語を用い、文章を口に出して他の人に伝える、これが基本です。

計画：しばしば用いられる英語フレーズに基づき、知っている単語を使って短時間で自由に文章を作成し発表する。それについて参加者が英語で自由に質問する。

メッセージ：参加者は50歳から70歳過ぎの方々5～6人で、和気あいあいと楽しくやっています。どなたでもお気軽にどうぞ。

『近世の史料や古文書を読む』

●原則毎月第2または第3木曜日9時30分～



ちば まゆみ
千葉 真由美

概要：江戸時代の村や町の史料を読みながら、当時の社会を学んでいきます。人々の努力や意識を、史料に書かれた語句や文章から丁寧に読み解き、またそれぞれが調べた内容を持ち寄って知識を深めたいと思います。

計画：茨城県内にあった村や町を対象に、すでに活字として刊行されている史料の講読から始めます。くずし字の解読も初心者向けの古文書から始めていく予定です。

メッセージ：くずし字にも挑戦して、古文書解読を進めます。難しいと思うかもしれませんが、悩みながらも楽しんで学んでいきましょう。

『発達障害について考える』

●原則毎月第3日曜日9時30分～



みずぐち すずむ
水口 進

概要：発達障害には自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、特異的学習症が含まれます。それがわかるのが多くは幼児期です。最近では大人の発達障害が話題になっています。幼児期、児童期、青年期、それぞれの時期における発達障害のあり方について、調べ、考え、みんなで話し合い、発達障害についての理解を深めましょう。

計画：発達障害について、みなさんが今もっている知識を知り、みなさんに調べてほしいテーマを与えます。調べたことを報告してもらい、それに対して私が事例をまじえながら解説を加えていきます。皆さんとの討論を大事にします。また自閉症児を兄弟にもつ方のために書かれた本(英文)を講読する時間ももちたいと考えています。

メッセージ：発達障害について簡単に書かれた本(新書版)がたくさん出ていますので、数冊読んでみるようにしてください。しかしその知識を深めるには論文を読む必要があります。論文の探し方についてもこのゼミで学んでいきましょう。

『日本の医療史』

●原則毎月第1または第2土曜日10時～



たきざわ としゆき
瀧澤 利行

概要：現代日本の医学は、世界でも最先端の進歩を遂げていますが、ここまでの発展をみるまでには、中国医学、オランダ医学、イギリス医学、ドイツ医学、そしてアメリカの医学など世界のさまざまな医療文化と医学の影響を受けてきました。このゼミでは、そんな日本の医学と医療の変遷をさまざまな角度からみていくことにします。

計画：大きく分けて、江戸時代までの医学の流れと明治維新以降の医学の流れをみながら、前近代の日本人の身体や医学のとらえ方、オランダ医学の影響、明治維新以降のドイツ医学の影響、感染症と細菌学、結核と日本人、戦争と日本医学、アメリカの医学と戦後日本の医学、麻薬・覚せい剤と日本社会、脳死と臓器移植などを取り上げていきます。

メッセージ：医療は私たちの身近な問題です。しかし、その医療の考え方や技術の一つひとつには人類の長い歴史が反映されています。医学と医療の歴史を知ることによって、自分たちが受けている医療の意味がより広く、深くできるようになると思います。少し難しい問題を取り扱いますが、興味があれば一緒に考えてみましょう。

『情報通信・ネットワークの基本を知ろう』

●原則毎月第2土曜日9時30分～



はぶち ひろまさ
羽瀨 裕真

概要：今やデータ・情報が世にあふれ、それらを活用する生成AIなどが取り上げられています。また、5Gがサービスインし、研究は6Gへと向かっています。それらについて少しSF的に考えてみます。このゼミでは新しい通信サービスを空想したり、簡単なプログラムを作成したり、話し合いながら『デジタル』の理解を深めます。

計画：通信はスマホだけでなく、宇宙・地上・海中での通信も考えられたり、実装されたりしています。それらについて少しSF的に考えてみます。また、情報検索エンジン、ExcelやPythonの使い方から始め、簡単なプログラム作成などにより『デジタル』への理解を深めます。毎回のゼミでは、皆さんと意見交換しながら進めます。

メッセージ：言葉は今を知り、未来を創造/想像できるキーです。通信やデータに関する言葉から将来に思いを馳せてみましょう。自分のPCでPythonやExcelなどで簡単なプログラムを作成したり、楽しみながら理解を深めましょう。

『在宅看護・介護について考える』

●原則毎月土曜日9時30分～



まえだ かずこ
前田 和子

概要：地域包括ケアシステムが推進されている今、従来の病者中心ではなく、人々が地域で生活・療養することを基盤に据えた看護がますます注目されています。住み慣れた地域でその人らしい暮らしを生きるために必要な介護予防や看護、さらに家族の支援についても考えていきます。

計画：このゼミでは、毎回関心のある話題をゼミ生に提供していただき、在宅看護や介護における身近な問題、課題についてゼミ生同士でディスカッションしながら、理解を深めていきたいと思っています。

メッセージ：健康であってもそうでなくとも、生活者とその家族が地域で暮らしていくためのニーズが、多岐にわたることを実感できる場になればと思います。

サークル紹介

茨城学習センターでは、現在10サークルが活動しています。興味のある方、入会希望の方は、学習センター窓口までご連絡ください。

パソコンクラブ

Zoom 初心者の方には個別相談に応じます。皆さまのご参加をお待ちしています。



パソコン・スマホを通じて親睦と情報技術を楽しむことを主目的としています。年度計画で決めたテーマでの勉強会を開催。相談コーナー開設（適宜）

◀午後の勉強会
（茨城学習センター3階実習室）

【最近1、2年の活動内容】

対面で活動できない時期にはZoomを使っての勉強会を実施。

- ◇放送大学バーチャルキャンパスへの誘い
- ◇チャット GPT とは
- ◇セキュリティ
- ◇ネットワークカメラ
- ◇スマートグラス
- ◇クラウド・AI・VR
- ◇メルカリ
- ◇電子マネー
- ◇HDDをSSDに交換する
- ◇サブスク
- ◇Web試験対策とは
- ◇Wi-Fiのしくみ
- ◇データサイエンス
- ◇OneNote 使おう
- ◇Wordのウラ技
- ◇メタバースって等。

●活動日：月1回（主に日曜日）
7月、1月休み

会員数：30名
会費：1,000円
代表者：網谷

ふるさと探勝会



学ぶ仲間と楽しく語りながら、魅力ある茨城と近隣の歴史・自然を探勝してみませんか。ご参加をお待ちしております。

◀真岡鉄道SLの旅（第80回例会）

豊かな自然と気候風土に恵まれたふるさと茨城やその近隣各県の町や村には貴重な文化財・史跡が数多くあります。永い時を刻んだ歴史遺跡や美しい自然を訪ねるたびに驚きや新しい発見があります。平成11年発足した会も昨年80回を数えました。毎回30名程が参加され、大型バスや列車を利用しています。

【令和5年実績】

結城・小山めぐり、真岡鉄道SLの旅、常総・坂東の旅

●活動日：年3～4回
（主に日曜日、日帰り）

会員数：43名
会費：1,700円
代表者：住谷

英会話クラブ

英語の実力は問いません。学習センター事務室で随時受け付けています。



英語は毎日の生活に欠かせません。楽しみながら、英語感覚を絶やさないように心がけています。また、会員相互の親睦も大切にしています。

◀偕楽園での青空クラス
（2022年9月）

茨城大学の上田敦子教授が指導されます。日本語も混じえながら、趣味や経験をグループで話し、またスクラブル等のゲームで遊び、時事の話題も取り上げます。大切な英語表現や発音はきちんと抑えます。コロナ以降海外ツアーや他センターとの交流が難しくなったので、それに代わる近場での青空クラスなども始めました。コロナ以降や活動の制約もありましたが、今後さらに状況が改善すれば、再び海外や他事業所との交流、オープンキャンパスでのクラスの開放などもやります。なお、年2回の楽しい「Drink & Dinner Party」もあります。

●活動日：毎月第1日曜日（原則）
13：30～

会員数：21名
会費：3,000円（半年1,500円）
代表者：石原

ゴルフサークル

初心者からベテランの方々、興味のある方は是非ご参加下さい。学習センター事務室で受け付けています。



茨城学習センターの『ゴルフ・サークル』は、10年余りの歴史を有し、スポーツ系のサークルとしては唯一の存在です。

◀2023.12.13第129回大会
於：富士カントリー笠間倶楽部

ゴルフ・コンペを、毎月の第2水曜日に水戸近辺の様々なゴルフ場にて、大会を開催しています。ベテランも初心者も一緒に、サークル内で決めたハンディ・キャップに基づき、楽しみながら順位を競っています。水戸周辺では、プレー費用も平日で安く、更に学生優遇で『ゴルフ場利用税』が非課税になります。また、他県のゴルフサークルとの交流大会も行っています。ゴルフを楽しみながら、心身共に健康維持に努め、学生相互のコミュニケーションを持つ絶好の機会です。

●活動日：毎月第2水曜日に
月例コンペ開催

会員数：18名
年会費：500円、コンペ参加費：500円
代表者：原

数学共楽会 (The Society of Enjoyable Mathematics)



発足 2008 年 10 月
ご指導：塩見正衛先生
(元茨城学習センター長)
「数学を楽しく学ぶ」ことを
モットーにして「数学共楽会」
として発足。

▲ご指導の塩見先生
(前列右2人目)とメンバー

◆体験入会歓迎：申込は事務室へ

現在次の3つのグループを中心に活動している。

- (1) 『初歩からの数学』(幹事：小川)
高校数学から大学数学への橋渡しとしての数学をゆったりした
ペースで学んでいる。
- (2) 『統計学ゼミ』(幹事：竹内)
2024年度から、従来の「初歩の統計学ゼミ」および「実用統計学
ゼミ」を統合して、新たにスタートする。幅広いテーマについて
学習を進める。
- (3) 「解析学」(幹事：中谷)
旧「奥ゼミ」を継承し、微分方程式の解法を勉強している。

●活動日：月に1回活動
(HPで紹介します)

会員数：22名 会費：無料
代表者：田辺

<https://sites.google.com/a/yokappe.net/mathematics310/>

香り文化サークル



香り文化サークルは、日本の
香り文化を中心に探求して
いますが、西洋の香りも
楽しんでいます。

◀2023年7月
県立歴史館茶室双宜庵

今年度も様々な香りを取り扱うテーマで活動をしました。茶道では、
抹茶の香りだけでなく、季節の茶花、お菓子など、夏場の設えで一服
いただきました。アロマでは、外部講師を招きアロマセラピーの基礎
を学び、そして、香料を自分好みにブレンドし、オリジナルの香水を
作りました。コーヒーでは会員所有の焙煎機から生豆を焙煎した豆を
使用して、4つの異なるコーヒーの味の違いを楽しみました。
年初めのサークルでは、新春菓子として知られる花びら餅を自分で
点てた抹茶にていただき、新春の香りを楽しみました。
皆さまのご参加をお待ちしています。

●活動日：基本毎月第1土曜日

会員数：10名
会費：3,000円
代表者：黒澤

未来環境クラブ



4 質の高い教育を
みんなに



最近、持続可能な
開発目標 (SDGs)
というコトバを
よく耳にしませんか？

未来環境クラブでは、悪化の一途をたどる地球の環境(自然環境、
社会環境、etc...)そして、未来の人類が利用する宇宙空間の環境に
ついて、メンバーの興味に沿って、あらゆる切り口で学び、発表する
機会を提供します。
国連のSDGs活動が終了するまで、あと7年。是非、安心・安全・
安定な未来環境の実現に向けて、一緒に学びたいと思います。

●活動日：毎月1回

会員数：12名
会費：令和6年度はなし
代表者：玉置

物理と天文サークル

物理

●「量子力学」輪講風景
教材：朝永振一郎著「量子力学」



●宇宙天気予報の勉強会
教材：片岡著「宇宙災害」



太陽フレア
(地球に危険)

天体観測

●天体観望会
●星空情報発信



物理に興味のある人達、また天体観測に興味のある人達のサークルです。

2018年度からサークルとして活動を始めておりますが、2024年度は
元茨城学習センター長の横沢先生のご指導のもと「量子力学」(朝永
振一郎著)の輪講と宇宙天気予報の勉強会、さらに天体観望会に加え
星空情報の発信を前年度に引き続き継続する予定です。
当サークルでは、いろいろな専門分野の人が入会しさらに活性化され
ることを望んでいます。放送大学生の方又は学友同窓会の方なら、
どなたでも入会を大歓迎します。

●活動日：原則第3土曜日
9:30~11:30

会員数：13名
会費：無料
代表者：石川

合唱クラブ (Chorus iOU)



茨城大学教育学部の
谷川佳幸先生(演奏学)が
本学習センターの客員教授に
就任されたのをきっかけに
結成されました。

当クラブでは、谷川先生から発声と声楽の基礎を学び、歌唱と合唱の
練習を行います。
愛称はChorus iOUです。iはもちろん「茨城」から、OUは
"Open University"から取りました。しっかりとした伸びやかな声
は自分と周囲を元気にします。ともに練習を重ねてよいハーモニーを
築いていきましょう。

●活動日：原則毎月1回
13:30~

会員数：13名
会費：年間500円程度
代表者：佐藤

生物・微生物サークル



微生物の世界

私たちの身近にある微生物はとても小さいのですが、その働き
は想像を超える力を発揮しています。共に考え微生物の
ワールドを探究いたしましょう。

●活動日：原則毎月1回
13:30~15:30

会員数：13名
会費：無料
代表者：岡島



科目区分	科目コード	科目名	担当講師名	開講日	定員	追加登録申込締切日	BYOD 対象科目
【導入】 情報	2637650	情報処理入門	松村 初 茨城大学 准教授 (教育学部)	4月20日(土) 1～4時限 4月21日(日) 1～4時限	20名		●
【専門】 心理と教育	2636360	心理学実験 1	森山 哲美 常磐大学 名誉教授	4月27日(土) 1～4時限 4月28日(日) 1～4時限	30名	4月20日(土)	
【基盤】 外国語	2637626	活動を通して学ぶ英語	大山 廉 茨城大学 講師 (全学教育機構)	4月27日(土) 1～4時限 4月28日(日) 1～4時限	20名	4月20日(土)	
【基盤】 外国語	2637634	ドイツ語を始める	佐藤 和夫 茨城大学 名誉教授	5月10日(金) 3～4時限 5月17日(金) 3～4時限 5月24日(金) 3～4時限 5月31日(金) 3～4時限	20名	4月28日(日)	
【専門】 生活と福祉	2637677	発達障害の理解と対応	細川 美由紀 茨城大学 准教授 (教育学部)	5月11日(土) 1～4時限 5月12日(日) 1～4時限	60名	4月28日(日)	
【専門】 人間と文化	2637731	声楽曲を演奏するまでの道のり	谷川 佳幸 茨城大学 教授 (教育学部)	5月11日(土) 1～4時限 5月12日(日) 1～4時限	30名	4月28日(日)	
【基盤】	2637618	改訂・問題解決の進め方	秋光 淳生 放送大学 准教授 (情報コース)	5月25日(土) 1～4時限 5月26日(日) 1～4時限	20名	5月18日(土)	
【専門】 社会と産業	2637715	住まいの基本と近代建築	堀部 安嗣 放送大学 教授 (社会と産業コース)	5月25日(土) 1～4時限 5月26日(日) 1～4時限	60名	5月18日(土)	
【専門】 心理と教育	2637693	臨床心理学的人間理解	水口 進 放送大学茨城学習センター 客員教授	5月26日(日) 1～4時限 6月2日(日) 1～4時限	40名	5月19日(日)	
【専門】 自然と環境	2637766	湖沼の外来種問題の最前線	茨城大学 教授 加納光樹 茨城大学 助教 金子誠也 (地球・地域環境共創機構)	6月1日(土) 1～4時限 6月2日(日) 1～4時限	20名	5月25日(土)	
【専門】 社会と産業	2637723	戦争とSDGsと平和学	蓮井 誠一郎 茨城大学 教授 (人文社会科学部)	6月1日(土) 1～4時限 6月8日(土) 1～4時限	60名	5月25日(土)	
【専門】 自然と環境	2637774	茨城の自然-東北地域のなりたち	安藤 寿男 茨城大学 名誉教授	6月8日(土) 1～4時限 6月9日(日) 1～4時限	60名	6月1日(土)	
【導入】 人間と文化	2637642	デッサン入門	関 徹 関アトスケールアップ塾主宰	6月9日(日) 2～3時限 6月16日(日) 2～3時限 6月23日(日) 2～3時限 6月30日(日) 2～3時限	20名	6月2日(日)	
【導入】 自然と環境	2637669	自然災害と地域防災	信岡 尚道 茨城大学 教授 (理工学研究科)	6月22日(土) 1～4時限 6月23日(日) 1～4時限	30名	6月15日(土)	
【専門】 人間と文化	2637740	史料で読み解く江戸時代の村	千葉 真由美 茨城大学 教授 (教育学部)	6月22日(土) 1～4時限 6月29日(土) 1～4時限	60名	6月15日(土)	
【専門】 生活と福祉	2637685	在宅看護の基礎(入門編)	前田 和子 茨城キリスト教大学 教授 (看護学部)	6月22日(土) 1～4時限 6月29日(土) 1～4時限	20名	6月15日(土)	
【専門】 心理と教育	2637707	実践・発達心理学	松本 光太郎 茨城大学 教授 (人文社会科学部)	6月29日(土) 1～4時限 6月30日(日) 1～4時限	40名	6月22日(土)	
【専門】 人間と文化	2637758	言葉の仕組みを探る	川嶋 秀之 茨城大学 名誉教授	7月6日(土) 1～4時限 7月7日(日) 1～4時限	60名	6月29日(土)	

面接授業 追加登録申請 について

入学学期当初から面接授業の登録申請に間に合わなかった方、期間内に科目登録が間に合わなかった方も空席があれば面接授業の科目登録ができます。空席状況をチェックしていただき、窓口もしくは郵送にて追加登録申込締切日までに申請してください。

- 空席発表日：4月13日(土) 12:00
- 追加登録受付開始日：4月18日(木) 10:00～

●申請方法●

窓口申請 以下の3点を茨城学習センター窓口にて提出してください。

1. 面接授業科目追加登録申請書
2. 有効期限内の学生証(コピー不可)
3. 授業料(1科目6,000円×登録科目数)

郵送申請 以下の4点を茨城学習センター宛てに現金書留にてお送りください。

1. 面接授業科目追加登録申請書
2. 有効期限内の学生証コピー(申請書に貼付)
3. 授業料(1科目6,000円×登録科目数)
4. 返信用封筒(長形3号(120×235mm))に宛先明記のうえ、84円切手を貼付

※注意事項※

- ・登録できなかった科目の授業料は、返送に係る費用を差し引いた金額を返金いたします。
- ・授業料はおつりの要らないようにご準備ください。



スケジュール



4月	1日(月)	第1学期放送授業開始 集中科目履修生募集要項配布開始 (司書教諭)
	5日(金)	第1学期オンライン授業開始
	6日(土)	入学者の集い
	13日(土)	第1学期面接授業開始 (~ 7/30) 第1学期面接授業 (追加登録) 空席発表
	18日(木)	第1学期面接授業追加登録受付開始 (~ 7/14)
	29日(月)	閉所日 (~ 5/6)
5月	1日(水)	第1学期ライブ Web 授業開始 集中科目履修生受付・在学生科目登録開始 (司書教諭: ~ 5/31)
	8日(水)	第1学期通信指導提出開始 (Web) (学部・大学院: ~ 5/29)
	15日(水)	第1学期通信指導提出開始 (郵送) (学部・大学院: ~ 5/29)
6月	9日(日)	卒業研究ガイダンス (Web)
	10日(月)	第2学期募集要項配布開始 第2学期出願受付開始 (第1回: ~ 8/31)
7月	14日(日)	第1学期単位認定試験 (Web) (学部・大学院: ~ 7/22)
8月	10日(土)	閉所日 (~ 8/15)
	15日(木)	第2学期科目登録申請開始 (郵送: ~ 8/30) (Web: ~ 8/31) 大学院 (修士全科・博士後期) 入試出願受付開始 ~ 8/25 通信指導提出期限 (司書教諭)
	24日(土)	臨時閉所日
9月	1日(日)	第2学期入学出願受付開始 (第2回: ~ 9/10)
	17日(火)	臨時閉所日



ウェブサイト・刊行物のご案内

機関誌「ふむふむ」

4月と10月の年2回お届けする
茨城学習センター情報冊子です。

茨城学習センター「利用の手引き」

茨城学習センターの施設案内や図書・視聴学習室の利用案内、通信指導や単位認定試験などの学事日程、客員教員紹介などを掲載した冊子です。ぜひ、ご活用ください。



放送大学茨城学習センターホームページ

最新のお知らせや各種手続き、公開講演会などイベント開催案内等を掲載しております。
ぜひ、アクセスしてみてください!

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>



◆放送大学茨城学習センター◆

事務室窓口 開所時間

火～日 9:30～12:00 / 13:00～17:30

※月曜日・祝日休み この他臨時閉所日については、ホームページ等でご確認ください

TEL

029-228-0683